

道路の側溝や雨水ますにペンキ、油、殺虫剤
洗濯排水などを流さないでください。



白濁してしまったいたち川

栄区内を流れる「いたち川」などは、下水道の整備と皆様の努力で、きれいな川になってきました。ところが、道路側溝や雨水ますにペンキなどの排水を流すことによって、河川の白濁が多く発生しています。

道路の側溝や雨水ますにペンキ、油、殺虫剤、洗濯排水などは流さないでください。

なぜ、河川に流れ込むの

基本的に、栄区内は雨水と汚水を分けて流す「分流式下水道」を採用しています。汚水は水再生センターで処理されますが、降った雨水はそのまま直接河川に流入します。

そのため、ペンキなどの排水を雨水ますや道路の側溝へ流しますと、直接河川に流れ込んでしまいます。

河川の白濁などの水質汚濁事故を防ぐために

- 1 小分けしたペンキなどは残さないように使い切りましょう。
- 2 刷毛などの塗装用具に付着している少量のペンキは紙やボロ布で拭き取り、ゴミに出しましょう。
- 3 塗装作業を行う業者の方に、塗料などの残液は廃棄物として処理するように依頼しましょう。

お問い合わせ 栄区 生活衛生課 環境衛生係

電話 894-6968

栄区 栄土木事務所 下水道・公園係

電話 895-1411